

セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 126 (通算 394 回)

2008 年 8 月 5 日(火)/27 日(水)

愛媛大学の全学的挑戦

学士課程教育の体系化

展開手法と実際

～ ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシーの

ノート PC 持参での実践ワークショップ

策定と一貫性構築をどう進めるか? ～

実際場面を想定したシミュレーションワークショップ(講義+PC 作業)による実践的な内容
職場ですぐに使えるカリキュラム・チェックリスト等のテンプレートをお持ち帰りできます

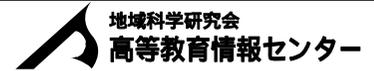
講師

佐藤 浩章 氏 / 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授・副室長、ファカルティ・ディベロッパー
 清水 史 氏 / 愛媛大学法文学部人文学科教授 (東京会場)
 井上 彰 氏 / 愛媛大学法文学部人文学科准教授 (大阪会場)

企画協力 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

8月 5 日(火) : 明治大学リパティタワー (東京・お茶の水)

8月 27 日(水) : 大阪コロナホテル (新大阪)



日時: 東京会場: 2008 年 8 月 5 日(火) 10:00 ~ 17:00

大阪会場: 2008 年 8 月 27 日(水) 10:00 ~ 17:00

同じ内容。ご都合の良い日程(会場)をお選び下さい。

東京会場: 明治大学リパティタワー会議室(お茶の水)

JR 中央線・総武線、東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」

より徒歩 3 分、千代田線「新御茶ノ水駅」より徒歩 5 分

大阪会場: 大阪コロナホテル会議室(新大阪)

JR「新大阪駅」東口北側出口から 200m

宿泊割引あり。KKJ にお問い合わせ下さい。

会場の地図及び受講証、10 日前に事前準備要項を

送付しますので必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込): 52,500 円(消費税込)

B. メディア参加(資料・カセットテープ代込)

: 42,000 円(送料・消費税込)

参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた

方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110 - 8 - 81660

全ての口座名 < (株)地域科学研究会 >

ご請求なき場合は振込受領書を領収書に

代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel : 03(3234)1231 / Fax : 03(3234)4993

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から

受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 126

2008 年 月 日

学士課程教育の体系化 展開手法と実際

8 月 5 日

8 月 27 日

メディア参加

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類〔 請求書 見積書 〕

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

2008年3月に出された『学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)』では、国際通用性を備えた学士課程教育の構築のために「明確な『三つの方針』に貫かれた教学経営」を求めています。つまり、大学の個性・特色は「各機関ごとの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針」(ディプロマ・ポリシー:DP、カリキュラム・ポリシー:CP、アドミッション・ポリシー:APに対応)に反映されるものとし、この三つの方針の共通理解の下に教職員が日常の実践に携わり、PDCAサイクルを確立することが重要としています。また、大学評価・学位授与機構「大学評価基準(機関別認証評価)」でも、同様の方針の策定と公表が求められています。

今回のセミナーでは、本分野のトップランナー愛媛大学の佐藤浩章氏をメイン講師に招き、DP・CP・APの策定と一貫性構築を進めていく業務の実際、想定される問題点、成果を上げるコツ等をシミュレーションワークショップ形式で実施いたします。

参加される方は、事前に送付いたしますテンプレートファイル(Excel)にご記入の上、実践していただきますので、当日は各自ノートPCを持参下さいますようお願い申し上げます。

時間	講義項目
10:00 ~ 12:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ DP・CP・APの策定と一貫性構築の意義 1. 愛媛大学のFD <ul style="list-style-type: none"> (1) 定義と実際 (2) 全学的教育改革を推進する教育企画室の機能 (3) ファカルティ・ディベロッパー(FDer)とは何者か? (4) 学部教育改革のキーパーソン、63名の教育コーディネーター制度とは? 2. 教育コーディネーター研修 <ul style="list-style-type: none"> (1) 効率的・効果的に策定を進めるスケジュール(9カ月プログラム) (2) トップダウンとボトムアップを組み合わせたオーソドックスな大学一丸方式
13:30 ~ 15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディプロマ・ポリシー(DP)の策定 1. 教育企画室からの依頼 <ul style="list-style-type: none"> (1) 動機をどう高めるか? : 方針の説明と先行事例 (2) 学部・学科の個性を活かす全学DPの提示法 (3) 策定シミュレーションワークショップの進め方 2. 学部・学科等でのDP策定作業の実際 <ul style="list-style-type: none"> (1) 既存の目標の洗い出し (2) 行為動詞として記述 (3) 到達目標の5領域
15:10 ~ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム・ポリシー(CP)の策定 1. 教育企画室からの依頼 <ul style="list-style-type: none"> (1) CPと授業との整合性をどうつけるか? (2) カリキュラム・チェックリストとは何か? (3) 策定シミュレーションワークショップの進め方 2. 学部・学科等でのCP策定作業の実際 <ul style="list-style-type: none"> (1) シラバスにおける目標の記載状況の確認 (2) 個々の教員によるシラバスの書き直しから見えてくるもの
15:10 ~ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドミッション・ポリシー(AP)の見直し 1. 教育企画室からの依頼 <ul style="list-style-type: none"> (1) これまでの作業から見える既存APの問題点 (2) APチェックリストとは何か? 2. 学部・学科等でのAP策定作業の実際 <ul style="list-style-type: none"> (1) 入試制度との対応関係の確認 (2) DPとの混在はないか? (3) 態度領域に偏在していないか?
15:10 ~ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果と今後の展開~さらなる学士課程教育の体系化に向けて~ 1. 成果 <ul style="list-style-type: none"> (1) DP公表の利点 (2) ミドル・レベルのFDとしての意義 2. 今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> (1) DP設定をどの教育組織単位にするか? (2) 到達目標の表現方法をどうするか? (3) 到達目標の評価をどの程度まで厳密に行うか? 3. 今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育コーディネーター研修会の予定 (2) カリキュラム・マップによる順次性の構築 (3) 学部・学科におけるカリキュラム再編にどうつなげていくか?